土砂災害ハザードマップ

Asahi City 旭市

<岩井、松ヶ谷、幾世、清滝、大間手地区>

～災害から身を守るために～

Landslide disaster Hazard map

泥沙灾害地图

千葉県では、土砂災害の危険度が高い場所を「土砂災害警戒区域」または「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。旭市では現在 49 箇所が指定されており、今後新たに 55 箇所が指定される見込みです。（平成 27 年度調査 40 箇所、平成 28 年度調査 15 箇所）旭市ではこれらがある市内 6 地域について、「旭市土砂災害ハザードマップ」を作成しました。

土砂災害ハザードマップとは、住民が土砂災害の被害を受けないようにするため、身近に土砂災害警戒区域等があることや土砂災害発生のおそろしさを認識し、避難場所を確認するとともに円滑な避難ができることを目的として作成したものです。対象地域の土砂災害警戒区域等や避難場所を示した地図、土砂災害に備えての各種情報を掲載していますので、日常の防災対策にお役立てください。

平成 30 年 3 月作成

～土砂災害時の緊急連絡先～

旭市役所（代表電話）	**TEL：0479-62-1212**
総務課地域安全班	TEL：0479-62-5311
旭市消防本部	TEL：0479-63-0119
旭警察署	TEL：0479-64-0110
海匝土木事務所	TEL：0479-72-1100

土砂災害について

土砂災害の種類

土砂災害は、急傾斜地の崩壊・土石流・地滑りの 3 種類に分類されています。

急傾斜地の崩壊

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震による影響によって急激に斜面が崩れ落ちるのが、急傾斜地の崩壊です。がけ崩れや山崩れなどとも言われます。

土石流

山腹、川底の砂や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるのが土石流です。

地滑り

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動するのが地滑りです。

土砂災害警戒区域等と急傾斜地崩壊危険箇所

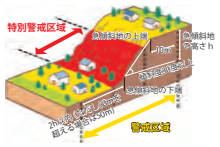
① 土砂災害警戒区域等

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域であり、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



旭市で指定されている土砂災害警戒区域等は「急傾斜地の崩壊」のみです。

土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊により生じた土石等の移動及び堆積により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が耐えることのできる力の大きさを上回る土地の区域が土砂災害特別警戒区域となります。

② 急傾斜地崩壊危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所とは、土砂災害危険箇所のうち、土砂崩れの危険性があり、5戸以上の人家あるいは学校などの公共施設に被害をもたらす可能性のある急傾斜地（傾斜度30度以上、高さ5メートル以上のがけ）のことです。

土砂災害警戒区域等と土砂災害危険箇所の違い

「土砂災害警戒区域等」とは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、土砂災害危険箇所のうち、市町村の都市計画図や空撮により整備した1/2,500地形図により現地調査を行い、土砂災害のおそれがある箇所を指定した区域です。

「土砂災害危険箇所」とは、国土交通省の要請により、1/25,000地形図を使用して、各都道府県が土砂災害の恐れがある箇所を図上から想定した箇所です。

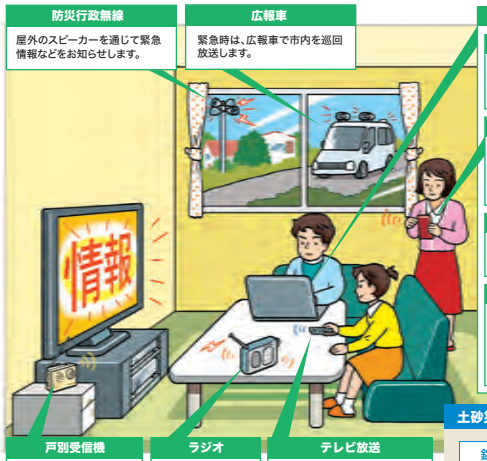
旭市では、土砂災害ハザードマップを作成する際に、法律に基づき指定された土砂災害警戒区域等を表記するとともに、急傾斜地崩壊箇所も表記しています。

注意するポイント（急傾斜地崩壊の前兆現象など）

- ●がけに割れ目が見える
- ●がけから水が湧き出ている
- ●がけから小石がばらばらと落ちてくる
- ●がけから木の根が切れる等の音がする
- ●がけにひび割れが発生しているところ
- ●がけの上部がせり出しているところ
- ●急なガけで高いところ
- ●がけから水が湧き出したり、がけの表面を水が流れているところ

情報の入手方法と伝達経路

旭市では、複数の手段を用いて、防災に関する情報を発信しています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。



防災行政無線

屋外のスピーカーを通じて緊急情報などをお知らせします。

広報車

緊急時は、広報車で市内を巡回放送します。

戸別受信機

旭市では、防災情報が聞ける家庭用「戸別受信機」を無料でお貸ししています。
設置されていない家庭は、総務課地域安全班または各支所住民室へお申し込みください。

総務課地域安全班
電話：0479-62-5311

ラジオ

災害情報などをラジオでお知らせします。

AM
NHKラジオ第1
594kHz

FM
NHK-FM
83.9MHz
bayfm
78.0MHz

テレビ放送

NHKなどのチャンネルでは、Lアラート※から受信した避難勧告・指示情報と避難所開設情報を、テレビのリモコンの「d（データ）ボタン」を押し、「地域の防災・災害情報」→「避難情報」と選択するとご覧になれます。

「dデータボタン」
※メーカーによって位置が違います。

携帯・スマートフォン・パソコン

旭市ホームページ

https://www.city.asahi.lg.jp/sp/index.html
携帯電話からはQRコードをスキャンしてご利用ください。

旭市防災マップスマホ用アプリケーション

アイフォン（iPhone）を利用している方はアップストア（AppStore）から、アンドロイド（Android）を利用している方はグーグルプレイ（GooglePlay）から「旭市防災マップ」と検索し、インストールしてください。

緊急速報メール（エリアメールなど）

避難勧告の発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話（対応機種のみ）に一斉送信します。

防災あさひメール配信サービス

事前にご登録いただいた携帯電話へ、気象警報等の災害緊急情報をメールで配信します。
登録は次のQRコード又はアドレスから行ってください。
http://www.city.asahi.lg.jp/sp/em/bosai/bosai_mail.html

国・県の提供する情報　検索

気象庁：気象警報・注意報（千葉県）

気象庁から発表される気象警報・注意報を確認できます。

千葉県土砂災害警戒情報システム

県内で発表されている土砂災害警戒情報、降水状況を確認できます。

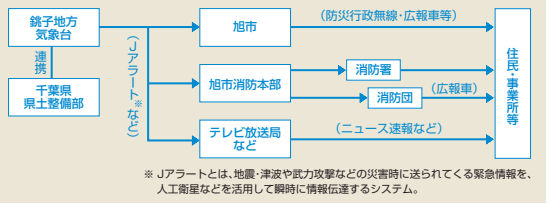
千葉県雨量・水位情報

最新の雨量・水位情報を確認できます。

千葉県防災ポータルサイト

土砂災害に限らず、防災に対する様々な情報を総合的に入手できます。

土砂災害警戒情報の伝達の流れ



※ Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの災害時に送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステム。

気象庁が発表する注意報・警報など

気象庁は、大雨や強風により、災害が起こるおそれのあるときに「注意報」、重大な災害が起こるおそれがあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

種類	発表の時期
大雨注意報	大雨による土砂災害等が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。雨が止んでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
大雨警報	大雨による重大な土砂災害等が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが著しく大きい場合には発表が継続されます。
記録的短時間大雨情報	大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表されます。旭市では、1時間雨量100mmの場合に、銚子地方気象台から発表されます。

土砂災害警戒情報

「土砂災害警戒情報」とは、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、銚子地方気象台と千葉県が共同で発表する防災情報です。自主避難の判断に活用できます。

大雨注意報　●今後の情報に注意

大雨警報（土砂災害）　●防災機関は待機準備　●住民は避難準備

土砂災害警戒情報　●防災機関は活動開始　●住民は前兆現象や防災情報を参考に早めの避難を検討

災害用伝言ダイヤル「171」　携帯電話・スマートフォンでもOK!

災害発生時に電話が混雑してつながりにくくなった場合に、安否の確認連絡に活用できる声の伝言板です。
ご利用にあたっての事前契約等は、一切不要です。

録音方法　1 7 1 → 1 → 自分の電話番号（市外局番から） → 伝言を入れる（※1メッセージあたり30秒以内）
音声による案内が流れます　被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

再生方法　1 7 1 → 2 → 相手の電話番号（市外局番から） → 伝言を聞く
音声による案内が流れます　被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

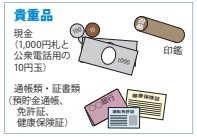
体験利用提供日
- 毎月1日、15日（00:00～24:00）
- 防災週間（8月30日　9:00～9月5日　17:00）
- 正月三が日（1月1日　00:00～1月3日　24:00）
- 防災とボランティア週間（1月15日　9:00～1月21日　17:00）

災害に備えて準備しておく物・心

準備しておく物

生活用品

貴重品



救急用品

衛生用品

携帯食

その他

準備しておく心

・裏面の土砂災害危険箇所位置図や防災訓練を通じて、避難場所、避難路などを確認しておきましょう！
・どんな時に土砂災害が起こりやすいのかを勉強しておきましょう！